

第19回（2023年度） 環境教育研究・実践奨励賞募集のお知らせ

日本環境教育学会では、若手研究者の育成及び実践活動の発展のために、環境教育研究・実践奨励賞の募集を行います。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1 目的

若手研究者の育成及び実践者の支援を通じ、学会の研究・実践活動の活性化を図る。

2 審査方法

1. 応募者エントリー

- 応募者は「第19回環境教育研究・実践奨励賞申請書」及び「発表要旨」を7月1日までに提出してください。（申請書のフォーマットは学会ウェブサイトからダウンロードいただけます。また、発表要旨のフォーマットは大会申込時に送付されるものを使用してください。）
- 提出先は下記の通りです。
環境教育研究・実践奨励賞事務局
incentive_award@jsfee.jp
*メールのみの受付となります

2. 第1次審査

- 「研究・実践概要書」を、①課題の設定、②オリジナリティ、③発展可能性、④完成度の4点から審査します。
- 審査委員（後述のとおり）がメールによる投票を行い、第1次審査通過者を選出します（審査結果は7月下旬にお知らせ）。

3. 第2次審査

- 第1次審査通過者は、第34回年次大会（鳥取）で第2次審査を受けることができます。第2次審査は審査委員と一般会員の傍聴のもとで、特別枠の選考セッションが対面形式で設置されます。日時・場所等の詳細は、年次大会実行委

員会から送付予定の「大会プログラム」を参照してください。

- 審査委員の評価点数をもとに最大5名を受賞者とし、研究・実践活動への助成として、一人3万円（予定）を贈呈します。
- 受賞者はHPやニュースレターなどで発表いたします。

3 申請者の資格と条件

- 2023年3月31日時点で35歳以下の正会員（一般・学生会員）が行う研究報告、正会員（年齢制限なし）による実践報告。
- 過去の受賞者は対象としません。
- 共同研究は可としますが、助成金の授与は個人とします。
- 実践報告の場合、年齢制限はありませんが教員や環境教育施設の職員など実践者を対象とします。

4 審査委員

審査委員は、理事会で承認を受けた本学会の研究委員が務めます。

5 備考

受賞者は、年次大会または3月集会等での表彰を予定しております。

（ダイバーシティ推進委員長／東海大学 岩本泰）